

“木村拓郎”プロフィール

●現職 (一般社団法人)減災・復興支援機構 理事長 博士(工学)

1971年から防災対策の仕事に従事。この間、雲仙・普賢岳噴火災害、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災などの復興計画策定に参画。復興を通じて得た知識をもとに減災活動、とりわけ避難生活や生活再建方策などの啓発に力を入れている。東日本大震災では出身地である宮城県石巻市の実家も津波で被災した。

【専門分野】 災害社会学、災害復興学

●略歴など

- ・1971 東北工業大学建築学科卒業
- ・1992 東京大学大学院社会学研究科 修士課程修了
- ・2006 長崎大学大学院生産科学研究科 博士後期課程修了
- ・1997 (株)社会安全研究所を設立、所長に就任(09年11月より顧問)
- ・2010 (一社)減災・復興支援機構を設立 理事長に就任
- ・2005 日本自然災害学会学術賞受賞

●役職・委員

- ・日本災害情報学会 理事(事務局長)(2008～)
- ・関西学院大学災害復興制度研究所 学外研究員(2005～)
- ・静岡県 防災対策推進専門家(2006～)
- ・NPO法人「災害看護支援機構」 理事(2006～)
- ・NPO法人「洞爺にぎわいネットワーク」 顧問(2002～)
- ・「ネットワーク三宅島」 顧問(2005～)
- ・東京都北区防災会議・国民保護協議会 委員(2013～)
- ・国交省「雲仙・普賢岳ドーム崩壊ソフト対策検討委員会」 委員(2014～)

●著書(含む共著)

「災害復興ガイド」クリエイツかもがわ、「災害時のヘルスプロモーション」荘道社、「災害看護」メディカ出版、「災害危機管理論入門」弘文堂、「火山災害復興と社会」古今書院、「災害対策全書」ぎょうせい、「災害情報学事典」朝倉書店、「災害対応ハンドブック」法律文化社 など

●新聞(連載記事)

- ・河北新報社「むすび塾」コーディネーター(2012. 5～16. 12 毎月11日掲載)
- ・東京新聞「生き抜く」(2016. 1～16. 12 毎月第4金曜日掲載)